



私の骨は大丈夫!?



骨の健康診断



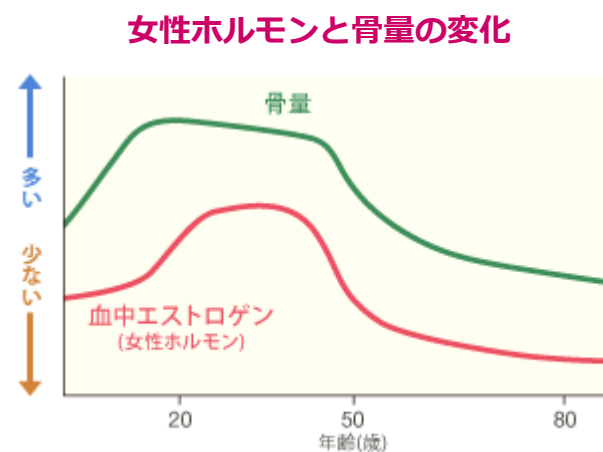
50歳を過ぎたら女性は定期的に骨密度測定を！
 なぜ定期的に測った方がいいの？
 50歳を迎えると、女性は
 急激に骨折しやすい状態へと
 変わっていくからです。

知らないうちに、もろくなっているかも！
あなたの骨チェック！



当院では GE社製全身用X線骨密度測定装置 **PRODIGY Fuga** を導入しました

骨密度測定では、
 若い人と比べてどのくらい
 骨の量が減っているかを
 調べます。



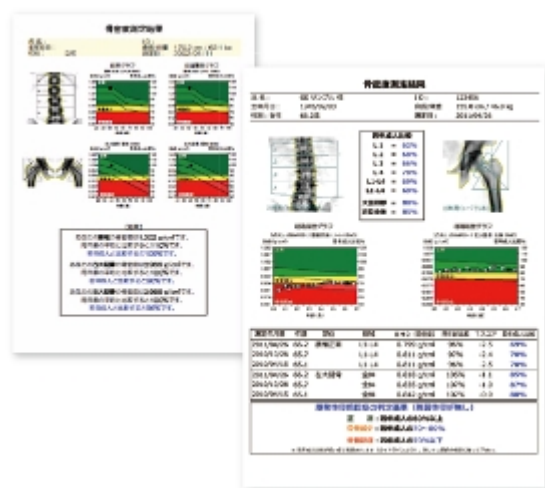
小山薫夫:「女と男の更年期」P.43, 誠文堂新光社, 2008より改変

骨がもろくなっているかどうかを知る指標として代表的なものが「骨密度」です。
 骨密度測定では、X線を使って骨の量を測ります。

結果は、若い人の平均値を100%とした時に、自分の骨の量が何%かで示されます。
 骨密度が若い人の80%未満になると要注意、70%以下まで減ると、
 骨粗しょう症と診断されます。(骨折したことがなく、他に骨密度を減らす病気などがない人の場合)
 骨粗しょう症になると、骨折が起きるリスクが高まるので、
 早目に診断を受け、食事や運動療法に加え、
 場合によっては骨を強くするお薬などによる薬物治療を早く始めることが肝心です。

 **患者さんにやさしい ▶ 低被ばく、検査時間が短い**

腰椎・大腿骨近位部の測定時の入射線量は37 μ Gyです。これは通常の胸部一般レントゲンの約1/6程度に相当します。
 またOneScanを使用した場合、被検者の装置上での検査時間は概ね3~4分程度です。



全身骨密度と体組成全身測定を行うことで、全身各部位の骨密度値とともに、体組成計測（脂肪量、非脂肪量、骨量）の計測が可能です。スポーツ医学領域やメタボリックシンドロームなどのダイエット、リハビリテーション分野での各パラメータのモニタリングに適しています。また、SMI (Skeletal Mass Index) も自動計測機能を有しており、慢性腎不全、肥満症、骨格筋量及び骨格筋力の低下を特徴とする症候群であるサルコペニアなどの診断をサポート致します。

全身の体組成
(脂肪量・筋肉量) の測定が可能

